

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/index.html>

第 5 報
千葉県農林水産部
令和6年7月26日

すべての品種で出穂期が早まっています。 高温が続く見込みのため刈り遅れに注意

[生育概況]

関東甲信地方は7月18日に平年より1日早く梅雨明けし、7月は平年より気温が非常に高く推移しました。このため、出穂が早まり、4月20日植え「ふさおとめ」の出穂期は7月5日、「ふさこがね」は7月7日、「コシヒカリ」は7月12日で、平年よりも5～7日程度早くなっています。さらに5月1日植えの「コシヒカリ」の出穂期は7月16日で、平年より8日程度早くなっています。葉色は平年並みからやや濃く、「コシヒカリ」は稈長が長い傾向にあります。

成熟期は4月20日植えの「ふさおとめ」が8月7日から、「ふさこがね」は8月12日から、「コシヒカリ」「粒すけ」は8月20日頃からと、収穫は非常に早い事が予測されます。なお、気象庁の1か月予報では気温が高い見込みで、成熟期が早まる可能性があります。葉色の低下や水の不足は、さらに成熟期が早まる要因となるため、刈り遅れに注意しましょう。

表1 品種・植付時期別の成熟期の予測 (出穂期後の気温が高い場合、収穫適期は早まります)

| 品種 | 植付時期 | 成熟期予測 | | | |
|-------------|-------|-------------|----------------|-------------|-------------|
| | | 県北 (香取市) | 九十九里 (横芝光町) | 内湾 (千葉市) | 県南 (館山市) |
| ふさおとめ | 4月20日 | 8月10日 | 8月9日 | 8月7日 | 8月7日 |
| ふさこがね | 4月20日 | 8月15日 | 8月14日 | 8月12日 | 8月12日 |
| コシヒカリ | 4月20日 | 8月24日 | 8月22日 | 8月20日 | 8月20日 |
| | 5月1日 | 8月31日 | 8月29日 | 8月28日 | 8月28日 |
| | 5月10日 | 9月4日 | 9月3日 | 9月2日 | 9月2日 |
| 粒すけ | 4月20日 | 8月23日 | 8月21日 | 8月19日 | 8月19日 |
| アキヒカリ(飼料用米) | 5月15日 | 8月30日 | 8月29日 | 8月28日 | 8月28日 |
| 夢あおば(飼料用米) | 5月15日 | 9月12日 | 9月12日 | 9月10日 | 9月10日 |

※成熟期予測は、水稻作柄安定対策調査ほの調査結果と生育予測システムを基に、各品種の出穂期から成熟期の標準的な日数、気象条件等を加味して予測。

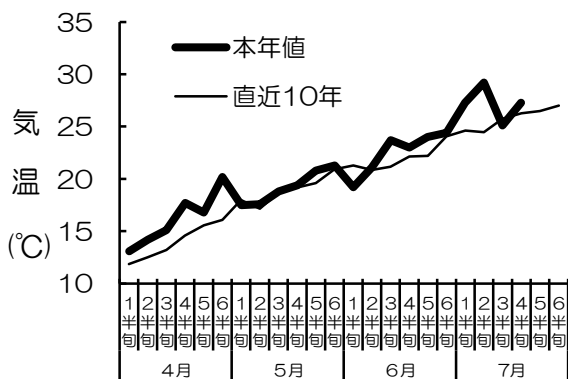


図1 日平均気温の推移 (アメダス、佐倉)

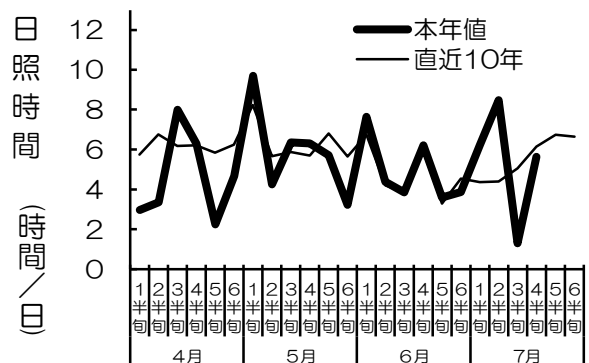


図2 日照時間の推移 (アメダス、佐倉)

[これからの管理のポイント]

■ 斑点米カメムシ類が多発しています

病害虫発生予報第4号（農林総合研究センター7月17日発表）によると、大型斑点米カメムシ類の発生が「多」、カスミカメムシ類が「多」となっています。防除適期（多発生の場合）は、成虫飛来期の「穂揃期（出穂期3日後）」と幼虫発生盛期の「出穂期から15日後頃」です。共同防除を実施した地域においても、散布後に侵入した成虫やふ化した幼虫による被害が発生する場合がありますので、カメムシ類の発生状況によっては、追加防除を行いましょ。なお、地域全体で斑点米カメムシ類の密度を下げするため、飼料用米でも適切に防除を実施しましょ。（防除薬剤は、「水稻の生育状況と当面の対策」第4報参照）



■ いもち病・紋枯病の防除

同予報によると、いもち病（穂いもち）の発生が「並」となっていますが、止葉など上位葉に病斑や、穂首や枝梗に枯れが見られる場合は、治療効果のある薬剤で防除しましょ。紋枯病は「やや多」であり、上位葉に進展するようなら防除しましょ。本年は縞葉枯病を媒介するヒメトビウカの発生が多いため、二番穂で越冬しないように早めに耕起しましょ。



表2 いもち病、紋枯病の主な防除薬剤

| 薬剤名 | 病害名 | いもち病 | 紋枯病 | 使用時期 | 使用回数 |
|-------------------|-----|----------|-----|----------|------|
| ダブルカットフロアブル | | ○(予防・治療) | | 穂揃期まで | 2回以内 |
| ノンブラス 粉剤 DL/フロアブル | | ○(予防・治療) | | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| ブラシン 粉剤 DL/フロアブル | | ○(予防・治療) | | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| カスミン 液剤 | | ○(治療) | | 穂揃期まで | 2回以内 |
| バリダシン 粉剤 DL/液剤 5 | | | ○ | 収穫14日前まで | 5回以内 |
| モンカットフロアブル | | | ○ | 収穫14日前まで | 4回以内 |

※農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょ。

■ 農薬の収穫前使用日数・飛散に注意

農薬を散布する際には、農薬に定められた収穫前使用日数に注意し、周辺へ飛散しないよう、以下の点に注意して農薬散布を行いましょ。また、収穫時期が早くなることが見込まれるほ場が近くにある場合は散布を控えましょ。

- 風向きに注意して、風の弱いときに散布する
- 散布の方向に注意する
- ドリフト低減ノズルを用い、適正な圧力で散布する

■ 品質低下を防ぐ水管理

出穂期3週間前から出穂期2週間後までは湛水管理とします。出穂期25日後までは田面の湿潤を保つため間断かんがいを続けます。本年はかなりの高温が予想されています。登熟期の水不足は、乳白米等の白未熟粒の発生による品質低下の原因となります。そのため、落水は出穂期25日後以降とし、田面を固めコンバイン収穫に備えましょ。また、限られた農業用水を大切に使うため、漏水を防止し、かけ流しは止めましょ。

■ 適期収穫（良品質米の生産のため適期に収穫を）

早刈りは青未熟粒、刈り遅れでは胴割米等が発生し、品質・食味を低下させます。

出穂期から収穫適期までの日数の目安は「ふさおとめ」で33日、「ふさこがね」で37日、「コシヒカリ」「粒すけ」で38日（「粒すけ」5月中旬植付は40日）ですが、高温が続くと登熟が早まります。正確な収穫適期は帯緑色歩合で判断しましょう。生育中庸な株の帯緑色歩合が15%（ただし、不稔粒を除く）の 때가収穫適期となります。（図3参照）また、本年は出穂が早いため、刈り遅れに注意しましょう。

収穫した籾を3時間以上炎天下に放置しておく、品質が低下するので、収穫後は速やかに乾燥しましょう。

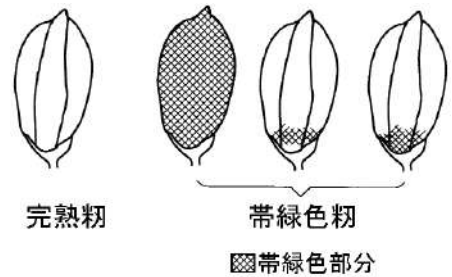


図3 帯緑色籾の見分け方
少しでも緑色の部分があれば、帯緑色籾として数えます。

■ 乾燥は丁寧に、仕上げ水分は適切に

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥は平均毎時乾減率0.7~0.8%で行い、仕上げ水分は14.5~15.0%とします。

また、乾燥終了直後の籾の温度が高い状態で籾すりを行うと、肌ずれ米や胴割米が生じるので、十分に放冷し、温度を下げしてから行いましょう。

■ 選別は 1.8mm 以上の網目を

外観品質を高めるため、選別は1.8mm以上の網目を使用しましょう。粒が小さい米の混入は玄米の粗タンパク質含有率を高め、食味を下げる要因になるので、選別の網目は1.8mm以上にしましょう。

■ 異品種混入の防止

異品種の混入を防止するため、品種切り替え時は、コンバイン、乾燥機、籾すり機等を丁寧に清掃しましょう。

■ 収穫後はすぐに耕うんを

令和5年9月の台風では、収穫直後に冠水し、稲わらが堆積したほ場が多く見られました。収穫後は速やかに耕うんを行いましょう。秋耕には稲わらの腐熟を促進し、次年度の還元障害（ガス沸き）の発生を抑制する効果があります。また、二番穂はイノシシ等の餌になりますので、鳥獣害対策の観点からも重要です。

■ 生産履歴記帳

「売れる米づくり」に栽培管理の記録は不可欠です。出荷する際には、集荷団体から「生産履歴」（栽培管理記録簿）の提出を求められる場合があります。

「生産履歴」を記帳することは、自己の経営の点検などにも重要な役割を果たすので、正確な記帳に努めましょう。

■ 飼料用米の収穫・乾燥・調製

○飼料用米の収穫適期

飼料用米の出穂期から収穫適期までの日数の目安は、「アキヒカリ」が40日、「夢あおば」が45日であり、帯緑色歩合は15~20%とします。

耐倒伏性に優れる「夢あおば」では、収穫適期以降、好天が続くと予想される場合は収穫を遅らせて立毛の状態乾燥（立毛乾燥）を進め、乾燥機の燃料コストの低減を図りましょう。

○飼料用米の乾燥・調製

飼料用米は主食用米と農産物検査規格が異なります。異物の混入などがなければ、ふるい分けの必要もありません。また、食味及び外観品質を考慮する必要がないので、区分管理の場合は乾燥時の温度をやや高めに設定して乾燥効率を上げましょう。

■ 飼料用米の適正出荷及び保管中の措置等について

○用途外使用の禁止

- ① 一括管理方式
基本的に契約数量を飼料用米として出荷します。
- ② 区分管理方式
原則、飼料用米として特定したほ場から収穫されたすべての米（ふるい下米を含む）を、飼料用米として出荷します。（図4）
※出荷数量は30kg単位ではありません。

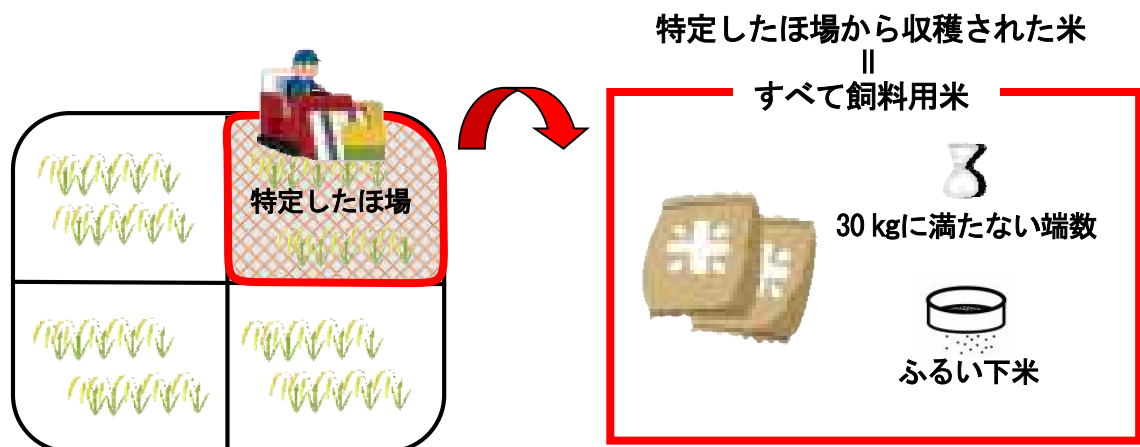


図4 区分管理のイメージ

○保管中の措置

用途ごとにパレットを分けるなど、他の米穀と区分して保管し、「票せん」による掲示をします。（図5）

※一括管理方式の場合は、飼料用米として特定された時点から他の米穀と区別して保管します。



図5 用途を示した票せんを掲示
（食糧法遵守事項省令第3条）

○販売時の措置

包装等に、用途を示す^飼の表示をします。（図6）
（見やすい箇所への印刷、押印、シールの貼付、その他の方法により鮮明に表示します。）

※JA等に販売委託している場合は、JA等が表示を行う場合があります。

※大きさ：外円直径30～40mm、肉幅2～5mm
肉色：青色または緑色

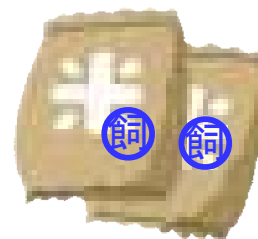


図6 包装に用途を表示
（食糧法遵守事項省令第4条）

今年は特に
注意！

水稲 適期収穫の徹底について ～刈り遅れによる等級低下を防ぐために～

令和6年7月
全農千葉県本部・千葉県

1. はじめに

本年の出穂は例年よりも7日程度早くなっています。さらに梅雨明け後の高温により、登熟が早まり収穫適期が想定より前倒しになる心配があります。昨年発生が散見された、**胴割粒や茶米**の多発は刈り遅れが要因で、**品質・食味の低下**を招きます。

また、例年より葉色が薄い場合や水が不足している圃場は特に成熟期が早まる可能性がありますので、刈り遅れにならないように注意しましょう。

2. 刈取時期の判断について

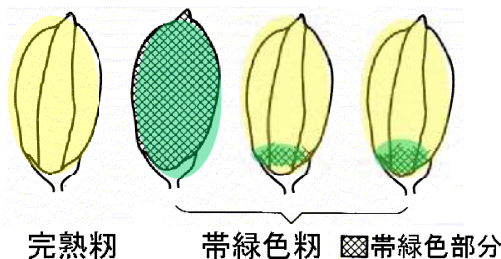
水稲の刈取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と、**帯緑色籾歩合**による判断があります。出穂から刈取りまでの日数は品種により異なりますので注意しましょう。

また、高温や天候不順などによっては刈取りまでの日数に大きく影響を与えますので、出穂後日数は目安とし、登熟をしっかりと確認（「**帯緑色籾歩合15%***」）して収穫しましょう。

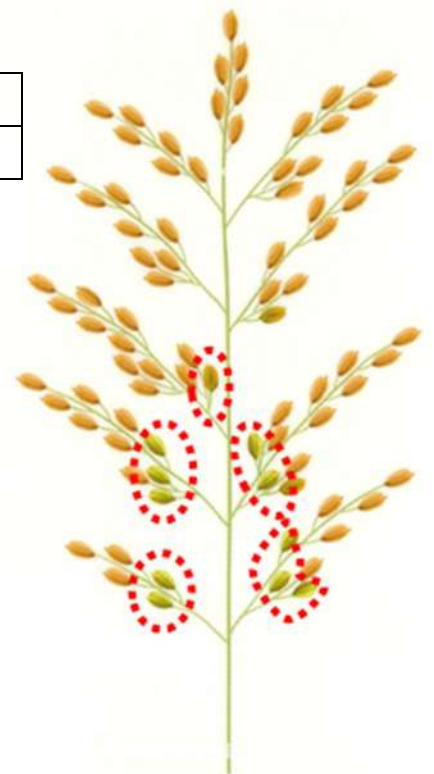
表 出穂から刈取りまでの日数の目安

| 品種 | ふさおとめ | ふさこがね | コシヒカリ | 粒すけ |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| 出穂後日数 | 33日 | 37日 | 38日 | 38日 |

※出穂期後が高温だと上記日数より3～5日程度早まります。



帯緑色籾の見分け方



内が帯緑色籾
(平均的な株の長い穂を見る)

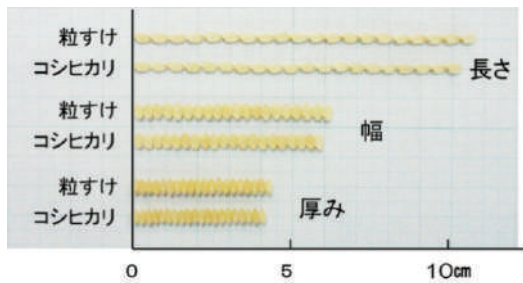
※帯緑色籾歩合とは籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のことで、帯緑色籾歩合15%の時に収穫を行います。

県育成品種『粒すけ』^{つぶ}を 営農体系に取り入れてみませんか？

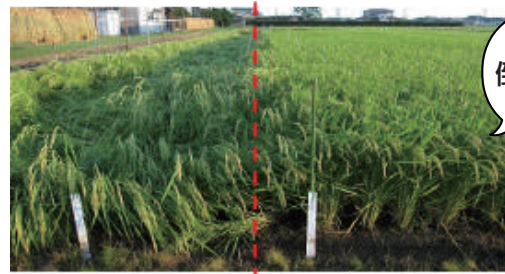


栽培面の特長

- 大粒で、コシヒカリより収量が多い
- コシヒカリと収穫時期が同じ晩生品種
- コシヒカリと同等以上の良食味
- 茎が短く倒れにくく、安定生産できる



▲20粒並べると、粒すけの方が1粒大きい



コシヒカリ

粒すけ

特長を生かした現地での導入事例

(1) 「コシヒカリ」より倒れにくい特性を生かした取組

栽培地域：旭市 経営類型：水稻52ha(うち「粒すけ」1.8ha)
生産者：(農)おうめいワクワクお米クラブ

「コシヒカリ」は倒伏しやすく、倒伏してしまうと収穫の作業効率が悪くなります。一方、「粒すけ」は「コシヒカリ」より倒伏の心配がなく効率的な収穫が可能です。

台風や大雨等の心配を少しでも減らし、自分達の目指すワクワクするようなお米作りのため、色々な課題を解決する取組を進めており、その一環として「粒すけ」を導入しています。



(2) 「コシヒカリ」に代わる我が家の主力品種として

栽培地域：南房総市 経営類型：水稻15ha(うち「粒すけ」7ha)
生産者：遠藤 茂雄氏

かつての我が家の栽培品種はほぼ「コシヒカリ」でしたが、毎年のように倒伏することに悩んでいました。倒伏に強い品種の導入も考えたけど、「コシヒカリ」より食味は落としたい…そんな中で、倒伏に強いだけでなく良食味が特長の「粒すけ」と出会い、これだ!と思って、その年から全量切り替えてしまいました。

実際栽培してみて、とても作りやすいし、食味も収量も良い。とても満足しています。



(3) 良食味を生かした栽培と販売

栽培地域：佐倉市 経営類型：水稲20ha(うち「粒すけ」3ha)
生産者：清宮 正裕氏



令和4年度千葉米食味コンクール
(粒すけの部) 千葉県知事賞(1位)受賞

施肥量を調整して良食味の「粒すけ」を直売所向けに生産しており、「コシヒカリ」と同等の価格で販売をしています。
粒すけを購入いただく方からは、「ツヤがあっておいしい」との評価をいただいています。また粒が大きく厚みがあるのも魅力だと思います。
「コシヒカリ」に代わる品種になることを期待しています。

(4) 販売多角化に向けた取組

栽培地域：香取市 経営類型：水稲52ha(うち「粒すけ」1.3ha)
生産者：(農)清里ファーム



当ファームでは直売所を中心に、「粒すけ」と合う料理等の紹介を行いながら販売しています。週末になると、地元の方だけでなく観光客も含め、多くの方にご購入いただいております。倒伏に強く作りやすいことから、作期分散にも貢献しています。

県の取組

▶ 認知度向上と販売促進

- ・粒すけPR動画を作成し、粒すけの認知度向上を図っています。
- ・県内小学校・特別支援学校(800校)のすべての児童等に県開発品種PRリーフレットを配布し、その時期に合わせて、県内の量販店において千葉県産フェアを開催することで、粒すけの販売促進を実施しました。



粒すけ紹介動画

▶ 千葉米食味コンクールでの「粒すけ部門」の新設

J A全農ちばが主催する「千葉米食味コンクール」に令和4年度より県が共催となり「粒すけの部」を新設しました。



▶ 一発肥料及び良食味展示ほの設置

農協と農業事務所が連携し、粒すけの一発肥料の試験ほを設置し、省力化に向けた取組を進めています。また、粒すけの良食味栽培に向けた展示ほを県内数か所に設置し、農林総合研究センターと連携して、より良食味となる栽培方法について調査しています。

- ◆ 詳しい栽培方法については、右図QRコードからアクセスの上、参考としてください。
※県HPにも掲載しています!



(掲載内容) 粒すけの栽培ほ